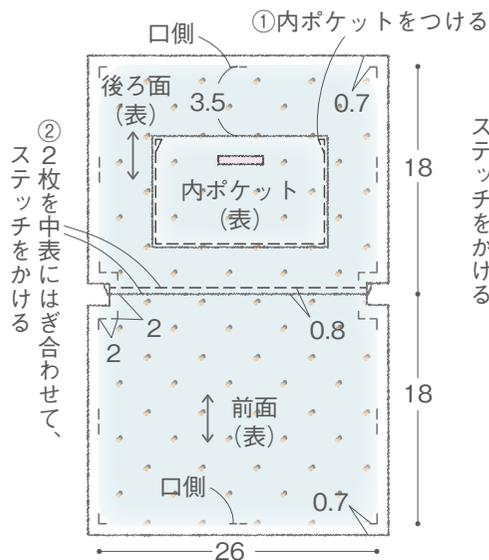
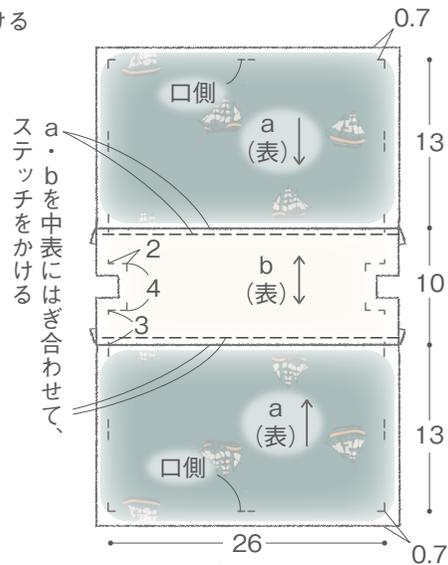


3 裏布を作ります



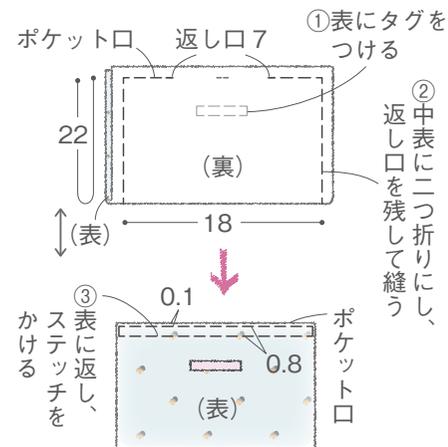
2 表布を作ります



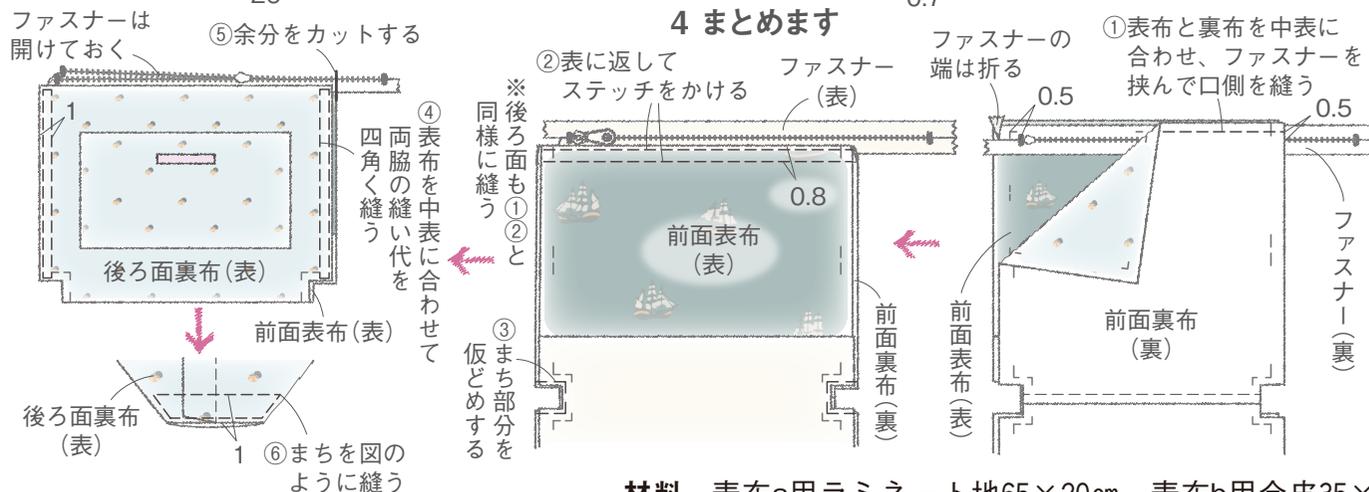
大きめサイズのサマーポーチ

☆縫い代は指定以外1cmつける

1 内ポケットを作ります



4 まとめます



材料 表布a用ラミネート地65×20cm、表布b用合皮35×15cm、タッセル用革25×20cm、裏布・内ポケット用ラミネート地85×30cm、30cmファスナー1本、タグ。

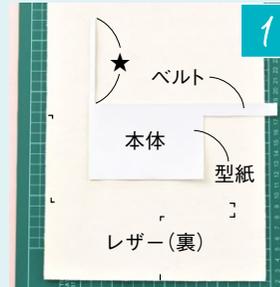
タッセルの作り方



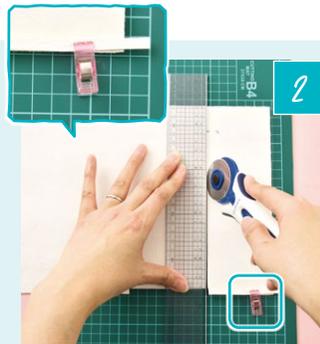
※わかりやすいよう、糸の色を変えています。



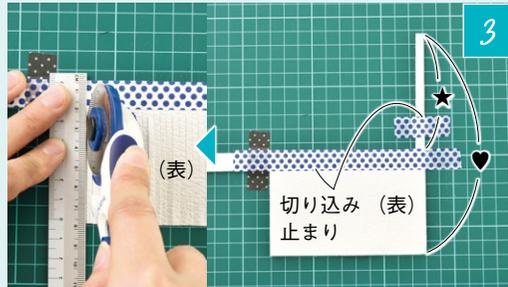
必要な用具 カッターボード、木工用ボンド、目打ち、ロータリーカッター、マスキングテープ、クリップ、定規、ミシン糸、縫い針、つま楊枝、紙。



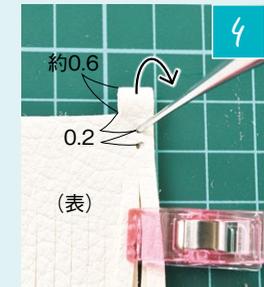
レザーに型紙をのせ、印をつける(こすって消せるフリクションペンを使用)。カットする際に定規を当てるため、印はポイントになる角のみでOK。



定規とロータリーカッターを使い、レザーをカットする。先にカットした部分はクリップなどでとめ、よけておくと切り損じもなくスムーズ。



2をマスキングテープで固定し、本体と★に切り込みを入れる。このとき切り込み止まりの位置にマスキングテープを合わせて貼ると、ガイドにもなってやりやすい。切り込みは型紙を参照して★は中央に1本、本体は右端から約0.3cm幅で入れていく。



マスキングテープをはがし、3の★を中表に二つ折りにしてクリップで固定し、2カ所に目打ちで穴をあける。



いったん★を広げ、ファスナー引き手に★を通して本体を巻いてみて、ベルトの巻き終わりが後ろ面にくるか確認する。巻き終わり端が横にはみ出す場合は、カットして整える。※レザーの厚みなどや巻く手加減によって★を引き手の上から通すか、下から通すかによって巻き終わりが前面にくる場合があるため。プロセスでは上から通した。



5を広げて★を二つ折りに整え、クリップでとめる。返し縫いの要領で4であけた穴にミシン糸(2本どり)を通す。



続けて写真のように糸を通し、脇に2回糸を渡す。脇も固定することでずれずにきれいに仕上がる。



糸端同士を固結びにし、余分な糸端はカットする。



斜線部分にボンドをつけ、つま楊枝で薄くのばす。



ていねいに巻いていく。巻き終わりはボンドを足してのばし、ぴったりとめる。トップの断面もすき間を埋めるようにボンドを薄く塗りながら、出っばった部分を押しえて平らに整える。



根元にマスキングテープを巻き、固定する。ボンドが乾いたらテープをはがして完成!

大きめサイズのサマーポーチ

